

# 自然環境を生かした安全・安心なまちづくり

平成26年第1回町議会定例会が3月4日から7日まで開かれ、平成26年度予算案などが審議されました。

徳永町長が行った町政執行方針と、小林教育長の教育行政方針の概要をお知らせします。



平成26年度町政執行方針  
町長 徳永 哲雄

## 諸課題の解決と将来を見据えた取り組みを

昨年は、日本の将来に大きく影響するさまざまな施策が政府によって表明された年でもありました。大胆な経済再生戦略の推進や社会保障の持続を掲げ段階的に引き上げられる消費税率などは、地域経済はもちろん、私たちの生活に直接関わる重要な案件であり、町政を預かる身として引き続き注視していかなければなりません。消費増税と

ともに減税や社会保障の一体改革などの各種支援施策やT・P・Pについても、引き続き情報の収集に努めていきます。

平成26年度の各種施策ですが、養護老人ホーム「倅和園」と特別養護老人ホーム「摩周」の建設が始まります。養護70床、特養100床、シヨートステイ10床で、総工費30億円を超える大事業です。

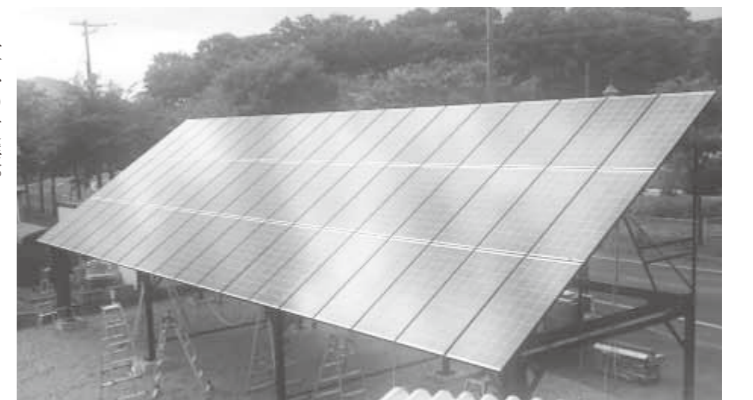
## 環 人と自然が共生する

### 自然環境の保全と活用

- ▼摩周湖の環境保全における、北海道大学や道立総合研究機構などの学術機関と連携した大気汚染調査などの調査研究事業の継続。
- ▼摩周岳登山道の適正な維持管理。
- ▼屈斜路湖の安全で適正な利活用と保全。
- ▼町全域の土地利用計画の策定への着手。
- ▼市街地や農地、森林の適切な管理・保全。

### 循環型社会の構築

- ▼自然再生可能エネルギー導入拡



太陽光発電などの導入を支援

## 活 まちに活力・活気・雇用を生み出す

- ▼観光と農業を柱とした地域活性化の推進
- ▼地場産品を使った特産品開発の推進。
- ▼資格取得支援制度や町単独の雇用対策事業などによる、離職者の雇用対策の推進。

## 暮 誰もが安心して暮らせる

### 保健医療体制の充実

- ▼各種がん検診、特定健診の受診率向上に向けた制度の一部拡充。
- ▼保健指導や健康教育の充実。
- ▼生活習慣病の予防と健康寿命の向上。
- ▼予防接種のメニューにおける高齢者肺炎球菌ワクチンの新規追加と接種費用の助成。
- ▼小児水ぼうそうワクチン接種の定期予防接種への追加。
- ▼摩周厚生病院の運営支援と救急体制の維持。
- ▼移転整備される特別養護老人ホーム摩周、養護老人ホーム倅和園と摩周厚生病院との円滑な連携。
- ▼子育てを応援する医療費還元事業の継続。
- ▼国民健康保険、後期高齢者医療制度の適切な運営。

### 地域福祉の充実

- ▼高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画の策定。
- ▼高齢者バス・ハイヤー料金および燃料費助成事業の対象者の拡大（75歳以上の方全員）。
- ▼サービス付き高齢者向け住宅などの建設・運営の検討。
- ▼デイサービスセンターの運営を弟子屈町社会福祉協議会へ移行

### 足腰の強い産業育成

- ▼T・P・P交渉結果と、国の対策を見据え、必要に応じた支援策が講じられる体制づくりの検討。
- ▼農業経営の維持・安定のための継続的な基盤整備、担い手の育成・確保、今後の農業生産の在り方の検討。
- ▼耕畜連携による町内の自給飼料の確保。
- ▼生乳生産基盤強化事業や草地基盤整備事業などへの取り組み。
- ▼姉妹都市・鹿児島県日置市から導入したチャンピオン牛を有効活用した肉牛振興への取り組み。
- ▼優良肉牛導入事業の継続実施。
- ▼多様な農業経営体づくりに向けた研究。
- ▼中小規模でも営農が継続できる方策などの検討。



日置市から贈られたチャンピオン牛「かねはる」

- ▼家畜ふん尿の臭気対策の継続。
- ▼伝染病の防疫対策の継続。
- ▼エゾシカによる農業被害対策の継続。
- ▼経営対策の見直しを農業者の所得安定につながるよう要望。
- ▼畑作基盤強化事業などへの取り組み。
- ▼新たな作物導入による経営形態の強化。
- ▼輪作体系の確立。
- ▼摩周メロンや摩周そばなどのブランド化の推進。
- ▼弟子屈産ワイン用ブドウの栽培面積拡大。
- ▼農道整備や公共牧場整備などの道営土地改良事業などの計画的な実施。
- ▼草地改良など持続的な農業基盤の整備。
- ▼町の森林整備計画に基づいた森づくりの推進。
- ▼国の補助事業を活用した林業専用道の整備。
- ▼町有林の多面的機能を発揮させるための、町有林造林事業の継続実施。
- ▼宿泊施設などに対する町内消費促進と、域内循環につながる仕組みづくり。
- ▼中小振興融資制度や企業振興促進条例活用の積極的な周知。
- ▼官民一体となった観光振興への取り組みの継続。



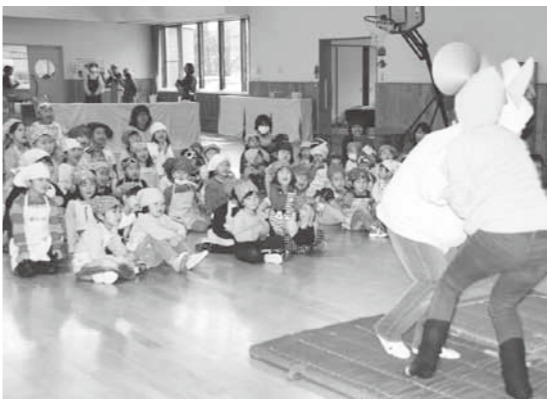
摩周メロンのさらなるブランド化を

- ▼高速道路の延伸に伴う道内客対策と、PR活動の展開。
- ▼釧路港入港予定のクルーズ船乗客の町内観光への誘導。
- ▼訪日外国人に対する効果的な誘客活動の実施。
- ▼冬の温泉熱ハウス栽培など、農業との連携を拡大し、旅行客の「食」に対するニーズに応えた観光振興と経済の活性化。
- ▼今年、指定80周年を迎える阿寒国立公園を「阿寒・摩周・屈斜路国立公園」と改名するための働きかけ。
- ▼「てしかがえこまち推進協議会」「摩周湖観光協会」「株ツリーズ」でしかがえへの各種支援の実施。
- ▼道の駅「摩周温泉」利用増加に向けたイベントの開催や広域的な情報提供、町民の利用促進への取り組み。

- ▼ するための準備。
- ▼ 障害者総合支援法の適正な運用と、福祉用具の給付や相談支援などの各種サービスの継続。
- ▼ 障がいがある方も暮らしやすく住みよい環境づくりの推進。

### 子育て支援

- ▼ 妊婦健診費用の助成など出産支援の継続実施。
- ▼ 乳幼児や子どもの健やかな発育と養育支援、少子化対策の実施。
- ▼ 乳幼児から学童まで、一人一人の育ちを保障できるような保育の充実。
- ▼ 安心して子育てと仕事の両立ができる社会の確立。
- ▼ 子育て支援センターによる、子育て中の親子に対する交流の場の提供。



より一層、保育を充実

- ▼ 子育て支援センターによる、未就学児のいる家庭への訪問支援の充実。
- ▼ 親と子どもの愛着関係を深めるための支援、育児への不安・負担感の解消につながる支援の推進。
- ▼ こども発達支援センターでの指導・支援の充実。
- ▼ 子ども・子育て支援事業計画の策定。
- ▼ 要保護児童や障がい児などを含めた、地域の子ども・子育て家庭全体を対象とした支援の基盤整備。

### 生活基盤の向上

- ▼ 安全・安心な水道水供給のための、石綿管の布設替えとメーター器の交換、管路図の電子化など、管理体制の整備。
- ▼ 温泉の安定供給のための、管路・配湯施設の整備と老朽化施設の更新。
- ▼ 泉地区の下水道工事の実施。
- ▼ 川湯・美留和地区の下水道整備に向けた実施設計。
- ▼ 機器更新工事による浄化センター長寿命化の実施。
- ▼ 花いっぱい運動による町並み整備の推進。
- ▼ 花壇整備などを積極的に進めている団体との連携による、景観に配慮したまちづくりの推進。
- ▼ みはらし台団地1号棟の長寿命化改善工事と住環境の改善工事、



えこバスポート事業で地域公共交通体系の確立を

- ▼ 物置の改築、1・2号棟の団地内通路の整備。
- ▼ 都市公園の計画的な改築・更新と長寿命化の実施。
- ▼ 泉ヶ丘公園の移設。
- ▼ 町内路線バスの赤字路線の維持。
- ▼ 路線バス弟子屈市内線が国の支援対象となるような働きかけ。
- ▼ バスの乗り方などを解説したパンフレットの作成。
- ▼ 「弟子屈えこバスポート」による観光周遊交通と地域生活交通が一体となった公共交通体系の構築。
- ▼ 町道維持管理の徹底と冬期除雪の効率化。
- ▼ 美留和地区の町道石狩別川沿2号線と川湯の森病院線(仮称)の舗装工事と、奥春別団地線の改良・舗装工事の継続実施。

- ▼ 町道鉛別西5号線の整備。
- ▼ 「弟子屈町橋梁長寿命化修繕計画」に基づく、既存橋梁の計画的な改修の実施。
- ▼ 町道鉛別高台線の道道昇格へ向けた協議。

### 安全・安心の確保

- ▼ 企業による子どもの見守り活動など新たな取り組みの検討と、交通事故のない安心して暮らせるまちづくりの推進。
- ▼ 関係機関・団体との連携強化による、詐欺や不当請求などへの対応と被害防止に対する取り組み。
- ▼ 防災備蓄品の適正な配置と非常用食料などの計画的な購入による、災害対策の充実。
- ▼ 硫黄山噴火警戒レベル導入を見据えた、関係機関・近隣自治体などとの連携と避難計画の策定。
- ▼ 「防災ガイドブック」の配布。
- ▼ 広報でしかがを活用した、防災に関する啓蒙(けいもう)活動の推進。

## 育

### 豊かな心を育て、文化を大切に

- ▼ 学校教育の充実
  - ▼ 学校・家庭・地域の連携による「まなびの環境づくり」の基盤整備。
  - ▼ 学校生活適応状況や生活習慣・学習習慣などの実態把握のための町独自調査導入による、学校の教

- ▼ 育活動支援の推進。
- ▼ 支援員の増員や関係機関との連携強化による、特別支援教育の充実。

- ▼ いじめ・不登校に対する学校の取り組みへの支援の推進。
- ▼ いじめ・不登校などについて、重大な事態が発生した場合に対応できる組織の整備。
- ▼ 昭栄小学校閉校に関する事務と、閉校事業に対する支援の推進。
- ▼ 弟子屈高等学校の「魅力ある学校づくり」に対する支援拡充と、学校存続への働きかけの実施。

### 社会教育活動の推進

- ▼ 多様なニーズに応じた学習機会の充実と学習情報の提供。
- ▼ 学校・家庭・地域が相互に連携・協力した、地域ぐるみの青少年健全育成活動の展開。

### 文化・スポーツ活動の推進

- ▼ 文化・スポーツの団体活動に対する継続的な支援の実施。
- ▼ 文化財や郷土芸能に対する保存・支援の継続と、次世代への継承。
- ▼ 町民との協働による、てしかがの蔵での郷土資料の整理・展示への取り組み。
- ▼ 屈斜路コタンアイヌ民俗資料館の活用による、アイヌの伝統・文化に関する知識の普及・啓蒙への取り組みの継続。

## 人

### 興味と関心を持ち行動する人を育てる

- ▼ 人材育成・人づくり・人材の確保
- ▼ 各産業における人材育成や連携を育む産業間交流、人材や協働団体の把握と職員研修の実施。
- ▼ 鹿兒島県日置市との姉妹都市交流。



姉妹都市盟約締結30周年を迎えた日置市

## 公

### 誰もがまちづくりに参加できる

- ▼ 町民や自治会、各団体がまちづくりに参画できる場の提供。
- ▼ 男女や年齢の区別なく、多くの方が社会参加できる仕組みづくり。
- ▼ 時代に即し、透明性の高い行政運営
  - ▼ タウンメールやアンケート、懇談会などによる意見の事務事業への反映と、広報紙やインターネット、説明会などによるまちの動きに関する情報提供という、双方向型の情報共有の推進。
  - ▼ 役場庁舎を訪れる方の利便性や

## 平成26年度予算のポイント

平成26年度予算は、一般会計が総額103億8千万円で前年度比46.9%の増、国民健康保険特別会計など6つの特別会計の合計額が30億6千385万3千円で前年度比12.0%の増となっています。

今年度は、30億円を超える老人ホーム改築事業費の捻出と各施設の高騰、4月からの消費税や労務単価の増など、多くの歳出増加要因

がありました。一方、歳入は、税収の増額が見込めないことや地方財政計画における各種交付金の伸びが期待できないことから、基金の充当や多額の地方債の借り入れなどを行う厳しい予算編成となりました。今後も、経済情勢や国の制度などを見極めながら、健全な財政運営に努めていきます。

併せて、公共施設の有効活用をはじめ、老朽化した施設の更新や統合、廃止などを計画的に進めるため、公有資産の適正化計画の策定に着手していきます。

- ▼ サービスの向上。
  - ▼ 役場屈斜路支所で行っていた住民票、戸籍、印鑑証明書などの受付・交付事務の屈斜路郵便局への委託。
  - ▼ デジタルテレビ放送難視聴地域の解消に向けたケーブルテレビ放送設備の増設。
  - ▼ 積極的な滞納整理と啓蒙活動による、税務行政の信頼維持。



国の財政が一層厳しくなる中、地方財政もさまざまな影響を受けています。経済情勢の好転が期待される一方、人口減少と少子化高齢化、都市部との格差や雇用面での格差の問題も顕在化しています。TPPなどの重要政策により、今後、大きな変化が起こる可能性もあります。

本町の人口も8千人を割り込む状況となってきました。そのような中でも、本町の特性である自然環境を生かし、町民の皆さんが安全で安心して生活できる、第5次弟子屈町総合計画を柱とした各種施策に全力で取り組んでいきます。